

センター便り

2014年度 春号

静岡県伊豆の国市寺家202

Tel 055(949)1165

伊豆医療福祉センター

センター便り編集委員会発行

二十七年年度

はじめにあたって

施設長 佐藤 倫子

今年度は伊豆医療福祉センターの五十周年にあたります。昭和40年に伊豆療護園として発足し、肢体不自由児施設から重症心身障害児施設、さらに法律の改定により現在は療養介護事業所、医療型障害児入所施設となり、通所は生活介護事業所（こすもす）、児童発達支援センター（ポレポレ）となっています。

在宅支援のための日中一時支援、短期入所、相談支援とさまざまな事業を展開するとともに、医療機関としての専門外来（神経小児科・発達行動小児科・整形外科・障害者歯科）、リハビリテーションを行っています。

外来で多くを占めるようになった発達障害の方に対しては、発達評価・SST (Social Skills Training) などの心理対応、作業療法士による感覚統合療法・集団療法、専門コ

部・伊豆地区の中核施設としてさらに機能充実を第一に考えています。平成25・26年度は人材確保、職員の意識向上に努めてきましたが、なかなか定着するところまでいって

いません。センター公開セミナーとして、職員・外部講師による発達障害・摂食嚥下障害などに対する講義を、年3〜4回開いています。また、センター内ではさまざまな問題に対して勉強会を開き、職員の知識向上・意識向上を目指しています。これらは、職員の自主的な疑問解決やサービ

ス向上につながる課題を取り上げています。また、平成25年度の済生会重症心身障害児施設5施設による共同研究「施設職員間により充実した情報共有の実現に向けた試み ―重症心身障害児者へのサービス向上を目指して―」を主体的に行いました。多職種間での情報伝達

て27年度も進んでいきたいと思っ

成人おめでとう

事務 土屋 光平

成人された利用者様をお祝いする「お祝いの会」を今年も開催しました。

ジュースをワインに見立ててみんなで乾杯をした後には、花束やお祝いの品を新成人の3名にプレゼントしました。成人おめでとうございます！



卒業おめでとう

「卒業の言葉」

★ 宍倉 慧美

ママ、12年間ありがとうございました。ふれあい運動会と学習発表会の時、お弁当つくってくれたね。おいしかったよ。

小学部の時まではママと別れる時、いつもさみしくて泣いていたよね。でも、今は慣れたし、がまんできるようになったから泣かなくなったよ。これからはセンターで頑張るよ。あそびにきてね。



「卒業」

★ 鈴木 千裕 (母)

高等部、卒業おめでとう。小学部4年で学校も変わり、あつという間に学校生活も終わって、さみしいです。

お世話になったたくさんの人に感謝して、これからも元氣いっぱいスマイルユツキで頑張ろうね！

♪ポレポレ卒園・修了式♪



★ 上山 真央 (母)

泣く・寝るのくり返しだった娘が、先生方の対応と優しさで、ポレポレが自分にとつての楽しい場所となりました。娘のこの成長ぶりに感謝します。

★ 今年度は2名の方が

ポレポレを卒園されました。おめでとうございます。

☆クリスマス会☆

「光り輝いて」

菊池 美咲 (母)

大きなサンタとイルミネーションに囲まれ、楽しかったクリスマス会もあつと言う間に終わった。美咲はイルミネーションにも劣らず、光り輝いていた。親子で踊った「マンボ」。ポーカークフェイスだが、幸せな一時を味わった。

育成課 神尾 佳苗

今年は親の会の方々がダンスを行ってくださり、エンディングがとても盛り上がりました。参加された皆さんの沢山の笑顔が見られました。クリスマス会の装飾も親の会からの寄贈があり、より一層豪華にできました。来年も今年以上に楽しいクリスマス会になるように計画していきたいと思



施設一般公開
11月の会

看護科 野本 ひとみ

11月15日(土)今年で4回目となる「にじの会」が開催されました。施設を一般公開して地域や関係者の皆様に見学していただき、当センターの役割などを知っていただく機会となっております。

当日は皆様により深く知っていただく為に、各部署で工夫を凝らし、見学だけでなく、体験や試食なども行いました。

看護科では、当センターで使用している栄養剤や水分補給用の水の試飲と説明、カルニチンの作用と必要性について掲示を行いました。立ち寄って頂いた方に試飲をしていただきながら説明をすると、真剣に耳を傾けていただけました。



秋の遠足



育成課 本間 理恵

10月25日(土)に「富士サファリパーク」へ行ってきました。

サファリゾーンではバスの中からライオンや熊などが見えました。驚いたり、じっと見つめたり、普段とは違う利用者様の様子が伺えました。ふれあいゾーンでは間近で動物と接することができました。レストランで食事をしたり、普段とは少し違う一日を楽しんできました。



思い出の会



育成課 井上 静

今年度は『みんなの写真展』という形で1年を振り返りました。「笑顔の花を咲かせたい」との想いを込めた企画は大成功。オープニングの太鼓から一体感が生まれ、普段とはひと味もふた味も違う職員のパフォーマンスに、会場は和やかな雰囲気と笑いに包まれました。

喫茶店の雰囲気味わってもらえるように、用意したドリップコーヒの香りにうつと顔の利用者様。日々の生活の中で見せる何気ない姿や、行事の時のほしやいだ顔など、素敵な表情の写真の数々に微笑む家族の皆様。私達職員も含め、居合わせた全ての人が心地良い時間を過ごしました。

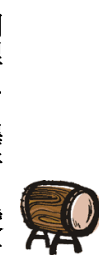


『どんつく』

太鼓行事に参加して

宮崎 徹(母)

大型台風が予報される中、大阪で開催された全国大会に新幹線や地下鉄を利用し、参加致しました。翌日は疲れも見せず、緊張しての入場。メンバーのMさんが作調した『青嵐』を演奏し、笑顔で退場しました。その姿はとても立派で、感動しました。



調理員 澤崎 綾子

当センターの太鼓チーム『どんつく』が、日本太鼓全国障害者大会に参加するため、一泊二日の大阪遠征に同行しました。台風の影響を心配しましたが、無事に通過。新幹線や地下鉄の乗り降りは大変でしたが、皆さん笑顔いっぱいでした。もちろん演奏は大成功！ 力強いバチさばきに、観客席で観ていた私達も大感激しました。

大阪の雰囲気もしっかり楽しんできました。夕食は街へ出て名物のお好み焼きを食べ、朝食はホテルのバイキング。皆でお腹いっぱい頂き、思い出に残る太鼓遠征でした。

《26年度の太鼓行事》

- *7月 あゆみ保育園納涼祭
- *8月 夏祭り(センター内)
- *9月 創立記念行事(センター内)
- *10月 全国障害者大会(大阪)

国立少年の家

伊豆の国市文化祭(アクシスカつらぎ)

伊豆の国市 ふれあい広場(福祉保健センター)

*11月 こども太鼓祭り(オラッチェ)

*12月 クリスマス会(センター内)

*3月 思い出の会(センター内)

行事のお知らせ

《公開セミナー》

「発達障害児の理解と支援」
医療の動向と支援の実際
講師 佐藤 博美医師
(伊豆医療福祉センター 発達行動小児科)

日時 6月20日(土) 13時30分

会場 葦山文化センター(時代劇場)

《遠足》

平成27年度は3グループに分かれて行う予定です。
6月6日(土) 一日コース(箱根方面)
7月・10月 半日コース

ありがとうございます

- ☆洗濯たみボランティア やまびこさん様
- ☆の花様
- みどり会様 (山の仲間会)
- ☆読み聞かせボランティア 言の葉様
- ☆奉仕作業 若船会様
- 伊豆医療福祉センター 親の会様
- ☆奇贈品 伊豆の国市 女性の会
- 伊豆長岡・葦山ブロック様 やまびこさん様
- 田方地区 労働者福祉協議会様
- 伊豆医療福祉センター 親の会様
- 他にも沢山の皆様の温かい御心遣い、ありがとうございます。

編集後記

新しい一年が始まります。今年度もがんばりましょう！
*広報委員 土屋